

漢方医薬国際科学技術協力プログラム

中華人民共和国科学技術部

漢方医薬は、中国が数千年にわたり疾病と戦う過程で積み重ねてきた貴重な財産であり、人類の保健衛生事業に極めて重要な役割を果たすべきものである。漢方医薬の機能を高め、世界の伝統医薬の代表として人類の健康に貢献するべく、このたび「漢方医薬国際科学技術協力プログラム」(以下「プログラム」と呼ぶ)を策定する。

一、 背景

人類の生命及び生活水準は、社会経済の発展と現代科学技術の進歩につれて、大きく変化している。医学モデル、治療モデル及び疾病の種類にも変化が起こりつつあり、現代医学は疾病の予防及び健康維持のニーズを十分に満たしているとはいえない。国際社会は、漢方医薬を含む伝統医薬が現代医薬と融合することによって、医療に新しいモデルを形成する可能性があることを認識し始めている。世界各国の政府は、それぞれ法律、規範及び市場参入などの方面から伝統医薬に対する支援を強化している。WHOは、“すべての人々の健康”を実現する上で伝統医薬が重要な役割を果たすことを強調し、世界規模で伝統医薬と現代医薬との融合を推進している。漢方医薬を含む伝統医薬の需要は絶えず増加しており、その研究価値、市場潜在力は、世界中で注目されている。

文化、歴史及び宗教的背景の違いから、漢方医薬の理論体系はまだ現代社会において広く受け入れられ理解されるには至っていない。その他の伝統医薬及び現代医薬との間の共通用語さえ欠けている。漢方医薬の安全性、有効性を評価する研究は、単一成分から成る現代医薬より複雑で、研究における客観性と再現性の標準化が待たれている。また、漢方医薬品は、多くの国で販売されているものの、副作用のモニタリングシステムが不完全である。数千年間積み重ねられた大量の漢方医薬に関する情報や、絶えず更新される研究データと製品情報を如何に共有し、重複と浪費を防止するのか、漢方医薬に関する知的財産権を如何に共有し、各々の利益に配慮するのか、更には漢方医薬に関する研究、教育及びトレーニングを如何に国際レベルで展開するのか、また、世界の人々に対して漢方医薬に関する知識を如何に正確かつ完全に普及させ、安全で効果的な利用を保証するのかなどの課題は、まだ手付かずのままである。人類の現代疾病の予防と治療、健康維持における漢方医薬の役割はまだ十分に発揮されておらず、その潜在力を更に掘り起こす必要がある。

21世紀では生命科学、情報科学及びシステム科学など、先進的な科学技術が急速に発展している。漢方医薬など伝統医薬の発展の過程で生じる科学的な問題は、知識の増加、大量のデータベースの出現、分析ツールと分析技術などの進歩によって解決されつつある。これらの問題が解決されることによって、多くの学問分野との融合や、新しい学問分野の誕生を促し、生物学、生命科学のみならず科学全体の発展と変化をもたらす。人類は生命現象や疾病プロセスを、全体的かつ統一的に理解できるようになるかもしれない。

二、 趣旨

- 国際的な科学技術協力によって、生命現象に対する認識を深め、医学の発展を推進する。
- 漢方医薬など伝統医薬の機能を高めることで、伝統医薬産業を発展させるとともに、人類の健康維持にかかるコストを軽減させる。
- 漢方医薬と西洋医薬を融合し、新しい医療モデル及び医療サービス体系を形成する。
- 東西文化の交流を促進し、伝統と現代との調和を図ることにより、異なる国家、異なる民族の相互理解を深め、世界の発展を実現する。

三、 原則

健康を第一とする。人類の健康を害する世界中の重大疾病に対する予防と治療を強化し、調和のとれた社会の構築を促進すると共に、人類の健康を維持・向上させる。

西洋と東洋の医薬を融合する。漢方医薬の科学的な理解を深め、数千年間積み重ねられた漢方医薬の効果的な予防・治療方法と世界の主要な医学体系との融合を促進する。

協力によって相互利益を図る。世界各国の特徴と健康に対するニーズに基づき、国際慣例に従い二国間また多国間の協力を展開し、各々の経済利益と知的財産権を尊重・保護し、協力による相互利益を図る。

情報資源を共有する。各国の漢方医薬など伝統医薬に関する法規と医薬評価プロセスにおける協調を強め、情報と資源の共有を促進することによって、漢方医薬など伝統医薬のより広汎で合理的な利用を促す。

四、 目標

- 国際的な科学技術協力を通して、漢方医薬のメカニズムを解明し、その理論体系に対する理解と評価を促す。
- 国際市場において需要が大きく、安全かつ有効で、品質の安定した信頼性の高い漢方医薬品を研究・開発することで、漢方医薬の安全性と有効性をさらに向上させる。
- 漢方医薬に関する監督管理及び品質保証技術マニュアルを制定し、国際的に通用する漢方医薬国際標準規範を構築し、漢方医薬を含む伝統医薬に関して世界各国が制定、実施している政策と法規に適応させる。
- 世界各国及び地域の医療制度において、漢方医薬をその他医薬の制度に組み入れるよう促し、経済的負担の少ない、タイムリーかつ容易な入手方法を確立する。
- 世界各国及び地域において高レベルの漢方医薬国際人材チーム、特に世界各国で必要とされる現地の専門家を育成するため、漢方医薬知識を国際的に完全かつ正確に普及させ、医師と消費者がより合理的に漢方医薬を利用できるように導く。
- 漢方医薬を含む伝統医薬を各国の医療制度へ導入するよう促進することで、各国の医療ニーズに応える。

五、 優先領域と主要任務

(一) 漢方医薬の重大な難病に対する予防、治療及び健康維持における臨床研究

疫学、科学的根拠に基づいた医療(EBM)、情報技術など、現代の技術や方法論などを応用し、漢方医薬が予防医療上優勢であることが示されている神経精神性疾患、心脳血管疾患、癌、自己免疫性疾患や、マラリア及びエイズなど国際社会に切実なニーズがある疾患、そして多発性疾患及び重大な難病等の疾患に関する診断法、治療法及び評価法を臨床研究を通じて確立し、その有効性を証明する。

現代科学の技術成果をふまえ、鍼灸、按摩及び気功など伝統医療を用いて、慢性病や心身の不調(dis-ease)を予防するための有効な方法とメカニズムを研究する。

(二) 国際市場のニーズに合致した現代漢方医薬品の研究と開発

世界各地の異なる市場ニーズと特徴に基づき、現代医薬等の開発で用いられる、国際的に通用する手順で研究を行う。これらの研究は、数千年間積み重ねられた漢方医薬物質を調査

するために、厳密な科学基準に基づき行う。難病の予防と治療のために、安全かつ有効で、品質の安定した漢方医薬品を研究開発し、健康への漢方医薬の貢献度を高める。

漢方医薬は成分が複雑で、品質管理が難しく、生産プロセスが長く、製造工程が複雑である。従って、先進的な技術と設備を効果的に開発、導入して、国際的に通用する現代漢方医薬品の製造技術と方法を構築することが重要である。科学技術部は、参入企業に対して研究開発センター、生産(栽培)拠点及び国際的な販売組織などの必要な施設設備の構築を支援し、経済的負担を少なくし、タイムリーかつ容易に漢方医薬を入手できるよう推進する。

(三) 漢方医薬に関する国際基準と規範の研究

中国の漢方医薬及び国際社会の伝統医薬基準に関する経験と教訓を生かしつつ、現代の医薬標準規範に照らして、国際的に通用する標準規範を構築する。この標準規範は、漢方医薬の医療、教育、研究開発及び製造に関する分野で、疾病の診断、治療、効果の評価、薬理及び安全性評価、品質管理などにおいて適用されることになる。更に、漢方医薬に関する標準規範等の多言語翻訳を支援する。漢方医薬の国際登録マニュアルを制定し、漢方医薬の国際認証センターを立上げるとともに、逐次国際的な漢方医薬に関する監督管理及び品質保証システムを形成し、漢方医薬の国際市場を規範化し、漢方医薬の安全で効果的な利用を保証する。

(四) 漢方医薬における国際科学技術協力プラットフォームの建設

様々な国や地域の政府及び科学界の要望に合わせ、世界各国の高等教育機関、研究機関、病院、企業などと連携して、二国間または多国間の漢方医薬臨床研究センター、安全性評価センター、研究開発センター、その他共同研究センターや研究室を開設し、漢方医薬国際科学技術協力プラットフォームを構築する。これらのプラットフォームでは、漢方医薬のメカニズム、有効な予防・治療方法、効果の評価、及び新薬の研究を展開し、国際的に通用する漢方医薬に適した基準及び方法を研究する。

(五) 漢方医薬に関する知識の普及

世界各国の特徴に基づき、多チャネル、多段階、多方式の漢方医薬情報と知識の国際普及システムを立ち上げる。

- 国際的に影響力のある漢方医薬に関する学術刊行物を発行する。
- 多言語の国際漢方医薬情報地域センターや、漢方医薬を含む伝統医薬の医療、研究、管理、法律規制及び市場などに関する情報を集積した伝統医薬国際情報センターを立ち上げる。
- 漢方医薬の教育、啓蒙のためのテキスト、古典医学書と現代研究成果に関する書籍を翻訳、編纂、出版する。
- 漢方医薬に関する適切な技術と製品を普及させる。世界レベルで漢方医薬に関する教育、医療活動を展開し、漢方医薬の普及と啓蒙を強化する。
- 世界各国の漢方医薬協会や現地の伝統医薬協会などと交流・協力し、国際社会が漢方医薬を理解できるような科学的・客観的な情報を提供する。

(六) 国際科学技術に協力する人材の育成

漢方医薬に関する管理、医療、教育、研究開発や製造経験と、現代医薬や世界各国の伝統医薬のそれを融合した、新しい概念の中で人材を育成する。特に伝統医薬に携わる人材が少ない国や地域においては、現地の専門家を育成することで、その伝統医薬の発展に貢献する。

六、組織と管理

(一) プログラム組織機構の設立

科学技術部が中国政府を代表して、関連する国家の政府及び国際組織と協調して、“プログラム”を計画し、実施する。“プログラム”に関する国際理事会を設立し、多面的な協力体制を始動させる。

科学技術部が世界レベルで漢方医薬及び関連領域の著名な専門家を招き、“プログラム”に関する国際専門家委員会を設置する。国際専門家委員会にて“プログラム”に関する優先事項、重点内容及び協力方式を検討し、理事会の“プログラム”策定に貢献する。

(二) 特定目的基金を設立する

中国政府は“プログラム”の始動にあたり資金拠出を行う。“プログラム”の実施段階においては、資金投入を行うための“プログラム”に係る特定目的基金を設立する。同時に、外国政府にも参加を呼びかけ、漢方医薬を含めた伝統医薬に関する外国政府の研究資金を導入して、“プログラム”を共同実施する。また、国際医薬市場において影響力のある多国籍企業に対し、漢方医薬における国際技術協力を資金投入するように働きかけることも重視する。

以上

翻訳 大和証券 SMBC 株式会社 北京駐在員事務所

なお、今回、中国人民共和国科学技術部より、漢方医薬国際研究開発プログラムの日本語への翻訳と掲載について、許諾を得て日本語に翻訳したものである。